



生物多様性の保全と持続可能な利用は、気候変動と並び、地球環境の大きな課題となっています。

日本においては、長い間、人と自然の共生が維持されていました。日本国内のローカルな価値や知見を守ることに、また日本独自の方法論の展開や実践が必要とされています。イオン環境財団は、2010年に生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が日本(名古屋)で開催されるのを契機に2009年に「生物多様性日本アワード」を創設いたしました。2015年は、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する優れた取組を顕彰する「第4回 生物多様性日本アワード」を公募制で実施します。

公益財団法人イオン環境財団は、平和の追及、人間の尊重、地域への貢献という基本理念に基づき、1990年に設立されました。当財団は、設立以来、市民の皆さまとともに環境保全に関する様々な活動に取り組んでおります。イオングループと共に実施して参りました植樹活動は、1991年に行われたイオンマラッカショッピングセンター(マレーシア)での「イオン ふるさとの森づくり」に始まり、自然災害の影響を受けた地域等で継続されています。植樹の累計本数は、昨年、1000万本を達成することができました。また当財団の顕彰活動として、「生物多様性日本アワード」(国内賞)と「生物多様性みどり賞」(国際賞)を隔年開催で交互に実施しております。2010年COP10において採択された「愛知ターゲット」や、2011年にスタートした「国連生物多様性の10年」を推進するため、そして私たちの緑の地球を次世代に引き継ぐため、当財団はこれからも顕彰制度の他、様々な活動に取り組んで参ります。

第4回 生物多様性 日本アワード 応募要項

〈お問い合わせ〉

第4回 生物多様性日本アワード 実行委員会 事務局
公益財団法人イオン環境財団

〒261-8515 千葉県美浜区中瀬1丁目5番地1
TEL:043-212-6022 FAX:043-212-6815 E-mail:ef@aeon.info
公益財団法人イオン環境財団 <http://www.aeon.info/ef>

主催：公益財団法人イオン環境財団
後援：環境省 国連生物多様性の10年日本委員会
株式会社共同通信社 朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞社

第4回 生物多様性 日本アワード

生物多様性 日本アワードは、生物多様性に関する顕著な貢献が認められ、今後も発展的影響をもたらすことが期待される日本国内在住の団体・個人による取組・研究開発を顕彰するものです。

対象となる取組

生物多様性の保全

森林、河川、沿岸域等の生態系の保全、野生生物の保護や生息・生育地の保全、保護地域等の自然再生・維持管理、ならびに、それらの地域の有機的なつながりの確保に資する取組およびそれらに関する研究開発

生物多様性の持続可能な利用

生物多様性により供給される食料・生物資材やサービス・景観等、自然の恵み(生態系サービス)の持続可能な利用に資する取組およびそれらに関する研究開発

生物多様性の普及・啓発

生物多様性の保全と持続可能な利用に関する普及と理解促進、学習、教育等の推進に資する取組およびそれらに関する研究開発

顕彰内容

グランプリ1件と優秀賞4件を表彰します。グランプリ受賞者には表彰状と副賞200万円が、優秀賞には表彰状と副賞100万円がそれぞれ贈呈されます。

応募資格

日本国内に在住する団体・組織・企業・個人であること。

*複数の団体・組織による共同の取組も対象となります。

応募方法

- 1 生物多様性オンラインマガジン「The MIDORI Press」から、応募書類一式をダウンロードしてください。

<http://www.midoripress-aeon.net/jp>

- 2 応募書類に必要事項を記入し、必要書類とともに The MIDORI Press の応募のページから「ご応募・お問い合わせフォーム」に添付してご提出ください。

(応募用紙の書式変更は不可)

郵送での応募を希望される場合は、下記住所までご送付ください。持ち込みでの受け取りはできません。

第4回 生物多様性 日本アワード 実行委員会 事務局
公益財団法人 イオン環境財団
〒261-8515 千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1

- 3 取組対象分野の有識者1名(応募団体の構成員および利害関係者は不可)の推薦状が必要です。

応募締切

2015年5月29日(金) 必着

選考

(五十音順、敬称略)

賞の選考は下記の方々からなる審査委員会にて実施します。

〈審査委員長〉

岡田 卓也 公益財団法人 イオン環境財団 理事長

〈委員〉

赤池 学 ユニバーサルデザイン総合研究所 所長

岩槻 邦男 東京大学 名誉教授

黒田 大三郎 公益財団法人 地球環境戦略研究機関 シニアフェロー

香坂 玲 金沢大学 地域創造学類 准教授

竹田 純一 東京農業大学 農山村支援センター 事務局長

あん・まくどなるど 上智大学大学院 地球環境学研究所 教授

結果発表・授賞式

- 1 選考結果は9月に発表いたします。

- 2 授賞式は10月に開催いたします。

その他

- 1 本賞および生物多様性に関する多様な取組を幅広く周知するため、受賞した団体・個人の皆様にはイベントおよび広報に関するご協力をお願いします。

- 2 応募申請書および審査時に応募者から得た情報は、当財団の事業の目的外に使用しません。なお、特に守秘を要する情報がある場合にはお申し出ください。